

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
1	4番 澤田 貞（一問一答）			
	1. 北陸新幹線石川県内全線開業について			
	(1)	開業後の取り組むべき課題について	北陸新幹線敦賀開業を間近に控えるなか、敦賀延伸後の誘客並びに能美市としての役割、次世代の地域づくりに取り組む思いを問う。	市長
	(2)	能美根上駅の充実について	北陸新幹線県内全線開業に伴い、能美根上駅の活用が一層重要となって来る。小松駅及び加賀温泉駅に降り立った客人を、能美市に迎え入れるスムーズな交通アクセスについて問う。	企画振興部長
	(3)	新たな観光ルートの創出について	北陸新幹線の金沢－敦賀延伸で見込まれる観光客の誘客策として、小松市・能美市を巡る新たな観光ルートの創出を問う。	産業交流部長
	(4)	「のみバス」の充実について	のみバスの連携ルートを分かりやすい名称に変更するとともに、九谷陶芸村をルートに組み込むべきではないか。また、観光ルートについても来客者に魅力アップとなる新たなルートを再考し、観光客の誘客や交流人口の拡大に繋げるべきと考えるが、見解を問う。	企画振興部長
	2. 共生型土地利用について			
	(1)	土地区画整理事業について	健全で良好な都市生活を確保するために、都市計画法で適正な制限が掛けられ、様々な手法で整備・開発・保全が進められているが、土地区画整理事業における、今後の開発行為に備える方針を問う。	土木部長
	(2)	土地区画整理組合への助成制度について	土地区画整理組合が施行する造成事業に、市独自の助成制度があるが、助成費の内容等について問う。	土木部長
	3. ガソリン高騰について			
	(1)	ガソリン価格の抑制について	ガソリン価格の高騰が長引くなか、ガソリン税を引き下げる「トリガー条項」の凍結解除など、各自治体が政府に積極的に働き掛けることへの見解を問う。	総務部長
	(2)	ガソリン価格抑制への万全の備えについて	ガソリン価格上昇に歯止めが掛からない状況下で、能美市民の暮らしが壊されないためにも、物価抑制も含めた万全な方策を問う。	副市長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
2	2番 荒井昌宏(一問一答)		
	1. 行政サービスのデジタル化について		
	(1)	デジタル化された窓口申請手続きの利用状況と市民に対する効果について 電子申請サービスの利用状況と、電子申請サービスの導入による市民にとっての具体的なメリットを問う。	企画振興部長
	(2)	窓口申請手続きのデジタル化におけるサポート体制と業務効率化について 窓口申請手続きのデジタル化を進めるにあたり、市民に対して具体的にどのようなサポート体制を整えているのか。また、デジタル化による行政運営の効率化やコスト削減、職員の負担軽減の効果を問う。	企画振興部長
(3)	地方公共団体情報システムの標準化について 標準準拠システムの導入は、行政や市民にどのようなメリットがあるか、またセキュリティについてどう考えているのか問う。	市長	

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
3	14番 東 正 幸（一問一答）			
	1. 令和4年8月豪雨による今後の対策について			
	(1)	1年間を顧みたら大雨災害全体のハード面の復旧・復興状況の見解、検証結果について	中山間地域での農地や水路、関連付帯施設の災害復旧の現状や、生産者の声や提言など、大雨災害全体を通してのハード面の復旧、復興状況についての見解及び検証結果を問う。	産業交流部長
	(2)	市民等の防災意識向上のための働きかけについて	地域住民や企業の防災意識が高まる勉強会や避難訓練の実施について、行政として具体的にどのような指導や働きかけをしているか。また、今後どのような計画を考えているのかを問う。	総務部長
	(3)	河川の水位危険度レベルの情報の速やかな提供について	市内河川において、国・県と連携を図り河川の水位危険度レベルの情報を共有し、地域住民に速やかな情報を提供できる仕組みの態勢づくりができているのか見解を問う。	総務部長
	2. カーボンニュートラル推進事業について			
	(1)	地球温暖化対策について	今後の目標達成に向けての事業展開の取組計画について問う。	市長
	(2)	市内企業を対象としたカーボンニュートラルに関する勉強会について	対象となる企業はどのような企業や業種であるのか、また、勉強会の具体的な内容、開催回数について問う。	産業交流部長
	(3)	省エネ投資促進支援補助事業について	省エネ投資促進支援補助金では、具体的に、どこまでのどのような投資内容を見込んでいるのか。また、投資企業に対し成果や実績報告を求めていくのかを問う。	産業交流部長
	(4)	削減目標達成への取組について	2030年度の温室効果ガス排出量を、2013年度対比で50%削減、2050年度までにゼロを掲げているが、達成は可能なのか。また、2030年度までの8年間の具体的な削減計画と対象の部門、取組方法について問う。	市民生活部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
4	3番 中村純子(一問一答)			
	1. 企業誘致について			
	(1)	北陸先端科学技術大学院大学との産学官連携について	企業誘致において能美市の強みである「北陸先端科学技術大学院大学との産学官連携」の実績と、当大学院大学修了生の能美市における就職の現状について問う。	産業交流部長
	(2)	能美市の企業誘致戦略について	企業誘致を取り巻く社会状況が急激に変化する中、これからも地域間競争を勝ち抜いて企業誘致を進めるための戦略について問う。	産業交流部長
	2. 働く子育て親の環境について			
	(1)	男性職員の育児休暇取得について	能美市男性職員の育児休暇で、最も長く取得したのは何日間だったのか。また、男性も長期間の育休取得を希望しやすくする職場環境づくりについて、どのように考えているのか問う。	総務部長
	(2)	女性職員の育児休暇取得後の復帰サポートについて	能美市女性職員の育児休暇取得状況と、すみやかな職場復帰と育児との両立、キャリアアップに対する支援策について問う。	総務部長
	(3)	放課後児童クラブについて	市内の次年度の利用数見込みと、定員オーバーする場合の対応について問う。	健康福祉部長
	3. 災害への備えについて			
	(1)	備蓄状況について	能美市備蓄計画に基づく、食料品や日用品の備蓄状況と、令和5年度の災害備蓄品整備費による整備内容について問う。	総務部長
(2)	防災用品購入に際しての補助制度の創設について	災害時の自助力を強化する意味でも、防災セットや、土嚢袋、簡易トイレ等の防災用品購入に際しての補助金制度を創設することが効果的であると考えるが、見解を聞く。	総務部長	

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
5	13番 南山修一（一問一答）			
	1. 激甚化する災害への備えについて			
	(1)	昨年の大雨災害の復旧・復興について	昨年8月に発生した大雨災害により、被災した農地、農業施設、森林と林道における復旧の進捗状況と完全復旧・復興に向けた計画を問う。	産業交流部長
	(2)	今後の災害復旧や治水対策への体制強化について	今後の災害復旧や治水対策として、土木・農林部局の体制強化を図る人事・組織面での対応を問う。	総務部長
	(3)	災害対策組織について	能美市役所における現在の災害対策組織体制を問う。	総務部長
	(4)	市の被災時の業務継続計画について	甚大で広範囲な災害が発生した場合の市役所本来業務を含めた災害対策組織の業務継続計画を問う。	総務部長
	(5)	手取川氾濫有事の際の対応方法について	手取川氾濫有事の際の被害の範囲や災害対策組織、避難所等、市民や企業を含めた訓練計画を問う。	総務部長
	(6)	地域防災力の強化について	市民力や企業力を合わせて地域の防災力を高める考えを問う。	市長
(7)	個別避難計画の策定について	自ら避難することが難しい避難行動要支援者への安全・安心を確保する計画策定の完了時期を問う。	総務部長	

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
6	7番 卯野修三(一問一答)			
	1. EBPM(証拠に基づく政策立案)の推進について			
	(1)	データ分析とビッグデータ活用について	ビッグデータの活用ならびにEBPMについて、市の見解とこれまでの取組を問う。	企画振興部長
	(2)	EBPMに基づく予算編成を行っているか	能美市の政策立案は、EBPM(証拠に基づく施策立案)での予算編成になっているのか。	総務部長
	(3)	デジタルデータの分析によるEBPMを今後どのように推進するのか	副市長は県庁において、数多くの政策立案をされた経験から、能美市において、EBPMを今後どのように推進していくのか。	副市長
	2. 市のPR戦略と観光戦略について			
	(1)	バックtoスクール導入について	県外の大学、専門学校等で学び、Uターン等をされた市民が母校を訪問し能美市をPRしてもらい、移住定住、合宿などの誘致につなげることが出来ないか。	市長室長
	(2)	観光大使・観光特使の現状、展望について	各分野に長けた観光大使・観光特使の皆さんのPRの現状、課題そして展望を問う。	産業交流部長
	(3)	観光ボランティアガイドの養成について	能美市の魅力をPRしファンを増やすためにも、旅行者の心に響く観光ボランティアガイドの養成は急務と考えるが、見解を問う。	産業交流部長
	(4)	シェアサイクル導入について	移動手段の一つとして、観光とともに日常でも利用できるシェアサイクル導入ができないか。	産業交流部長
	3. 不妊治療費の助成について			
	(1)	保険適用によるメリットと効果について	昨年4月に、不妊治療費の保険適用が拡充されることになったが、保険適用によるメリットと効果について問う。	健康福祉部長
	(2)	全額助成の実施について	出生率の低下傾向を食い止めるためにも、不妊治療費の全額助成を実施できないか。	健康福祉部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
7	6番 山下 毅（一問一答）			
	1. チャットGPTなど生成AIの活用について			
	(1)	市役所における生成AIの活用について	市役所では、生成AIを今後どのように活用することを想定し、どこから着手し、どのように拡大していくのかについて問う。	副市長
	(2)	教育現場における生成AIの活用について	教育現場では、生成AIを今後どのように活用することを想定し、どこから着手し、どのように拡大していくのかについて問う。	教育長
	(3)	市役所における生成AI利活用のリスク対応について	生成AIを今後、利活用する市職員の知識及び能力向上を含め、リスクをどのように想定し、どのように対処していくのかについて問う。	副市長
	(4)	教育現場における生成AI利活用のリスク対応について	生成AIを今後、利活用する教職員や児童生徒の知識及び能力向上を含め、リスクをどのように想定し、どのように対処していくのかについて問う。	教育長
	2. 空き家対策の現状と課題について			
	(1)	「能美市空家等対策協議会」の協議実績と市の特定空き家所有者等への指導の実施状況及び成果について	「能美市空家等対策協議会」におけるこれまでの協議実績と、本市における特定空き家所有者等への指導の実施状況及び成果について問う。	土木部長
	(2)	本市の空き家バンク制度について	本市の空き家バンク制度の事業効果と課題及び今後の取組について問う。	土木部長
	(3)	空き家バンクに登録された建物の利活用について	空き家バンクに登録された建物の利活用を図るために、アイデアを募り、さまざまなご意見を参考にし、問題解決につなげていくことも必要ではないかと考えるが、市の見解を問う。	土木部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
	5番 今尾晃司(一問一答)		
	1. 国造地域の里山の魅力を活かした交流促進とにぎわいの創出について		
	(1) ヤリカン新コース、および遣水観音山と虚空蔵山の散策路の整備について	里山振興事業として行われた、ヤリカン(トレイルランニング大会)新コースの整備、および遣水観音山と虚空蔵山の2つの史跡エリアにおける散策路の整備について、これまでの状況と今後の利活用を問う。	産業交流部長
	(2) 今後のヤリカンへの支援と、虚空蔵山エリアでのフェス開催について	国造地区の里山を一体的に捉えて、移住定住につながる交流人口の拡大と、人と自然が調和した活力ある地域づくりを目的として、今後、ヤリカン主催者との協働の取組や、虚空蔵山のエリアを会場としたスポーツとマルシェを融合したフェス開催への支援について見解を問う。	市長
8	2. 安全安心のまちづくりについて		
	(1) 空き家対策の長期的な方針と取組について	令和4年度の空き家実態調査により、能美市の空き家は773軒との報告があった。「空き家問題」が町会・町内会や地域住民の負担にならないための長期的な方針と取組を問う。	土木部長
	(2) 信号機のない横断歩道の事故防止について	信号機のない横断歩道を歩行者が渡ろうとしている場面で、約6割の車が止まらないとの調査結果がある。歩行者保護のため、運転者へ減速義務や停止義務の普及啓発に市としても力を入れてはどうか、見解を問う。	市民生活部長
	(3) DX活用による今後の防犯事業の構想について	DXを活用した市民の安全安心を先取りする施策として、例えば市民見守りカメラネットワークなどの防犯事業の調査研究を行うなど、今後の構想について見解を問う。	市民生活部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
9	11番 田中 大佐久(一問一答)			
	1. 財政運営について			
	(1)	令和4年度決算からの財政状況について	実質収支額は5億6千万円の黒字となっているが、財政調整基金の取崩しが令和4年度は4億円と令和3年度より増加している。市の財政状況を問う。	総務部長
	(2)	財政指標から表れる財政状況について	健全化判断比率等の財政指標から過去の数値と比較してその傾向をどのように捉えているのか。また、今後の見通しについて見解を問う。	総務部長
	(3)	財政状況から能美市の成長度合いについて	事業・施策の7本柱と5つの方針・目的のもと、移住定住の促進が図られ企業誘致も好調と認識しているが、成長の度合いを数値で示せ。また、今後の成長の課題を問う。	副市長
	2. 能美市の治水対策について			
	(1)	鍋谷川での事前止水措置の効果について	能美市・小松市・手取川宮竹用水土地改良区の3者で締結した治水協力協定に基づき行った事前止水の鍋谷川への効果について見解を問う。	土木部長
	(2)	鍋谷川の治水対策の進捗について	梯川水系流域治水対策プロジェクトによって、鍋谷川の改修が進むが、事業の進捗状況について見解を問う。	土木部長
	(3)	県治水協会会長に就任した市長の意気込みについて	近年、自然災害が頻発している。特に大雨被害に見舞われた石川県内において、治水協会が果たす役割はより重要と考えるが、石川県治水協会会長就任にあたりその意気込みを問う。	市長
(4)	治水対策強化のための新たな組織の設置について	いつ起こるか分からない自然災害。治水対策に対応する担当部署を設置すべきと考えるが、近年、能美市で設置された組織と新たな組織の設置について、市の見解を問う。	副市長	

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
10	15番 近藤啓子(一問一答)			
	1. 介護保険制度について			
	(1)	介護報酬等の改善について	介護サービスの継続提供のために、低く据え置かれてきた介護報酬の引き上げを行うことや、2割負担対象者の拡充などの利用者負担増をやめること、介護職員の処遇改善を政府に求めていくべきでないか伺う。	健康福祉部長
	(2)	物価高騰に対する市としての具体的な介護事業者支援の実施について	ガソリンや各種物価高騰のもとでの高騰対策支援で介護事業者をささえるべきと考えるが伺う。	健康福祉部長
	(3)	在宅療養者を介護する介護者への支援について	在宅療養者を介護する介護者の心身への負担は大きいものがある。介護慰労金制度の改善や介護用品購入支援によって、介護者への支援を図るべきでないか。	健康福祉部長
	2. スマートインクルーシブシティ構築事業①医療介護連携システムについて			
	(1)	利用料の発生について	申請計画書では、利用者や事業者への新たな利用料の発生が書かれているが、検討状況について伺う。	健康福祉部長
	(2)	個人情報保護について	多くの職種や担当者が情報を見ることになるが、情報漏えい対策を含めセキュリティ対策はどうか伺う。	健康福祉部長
	(3)	ビジネス創出のためのデータ提供について	情報・データの提供により新たなビジネスの創出のために、データの提供はどのようにされるのか。また個人の特定に結び付くことはないのか伺う。	健康福祉部長
	(4)	利用者との合意について	利用料金やデータの提供への合意ができないときにはこのシステムは使えなくなるのか。その時の対応について伺う。	健康福祉部長
	3. スマートインクルーシブシティ構築事業②IoT高齢者見守りシステムについて			
	(1)	システムの構築について	イエナカデータ連携基盤構築にエコネットコンソーシアムの定義するAPIに準ずるAPIの利用としているのはなぜか。	企画振興部長
	(2)	システム構築業務委託に係る公募型プロポーザルについて	何社がプロポーザルに参加したのか。シャープ株式会社を契約候補とした要因は何か。見守り機器として空気清浄機を選定された理由は何か。また、日中一人暮らしの不安解消に、スマートウォッチなどもありうるのではないか見解を伺う。	企画振興部長
	(3)	利用者の料金負担及びビジネス創出のためのデータ提供について	今後利用者への新たな料金負担を想定しているのか。ビジネス創出へのデータの提供についての考えを伺う。データ提供について利用者との合意がなければシステムは使えなくなるのか考えを伺う。	企画振興部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
9番 仙台謙三(一問一答)			
1. 市の治水対策、及び人材確保について			
(1)	宮竹用水の事前停水の実績とその補償費用について	宮竹用水の事前停水について、停水の実績を問う。また、どの程度の補償費用が生じているかを問う。	土木部長
(2)	市の治水対策をどのように進めていくのかを問う	今後の治水対策にあたっては、中長期的な視点から抜本的な対策を、可能な限り、早期に実施される事と、今後の能美市における治水対策をどの様に進めていくのか、見解を尋ねる。	市長
(3)	技術系職員の確保について問う	自然災害への対応やインフラの老朽化対策など、安全安心なまちづくりを持続して支えていくためにも、技術職員の力は欠かせない。一刻も早く技術職員を確保する方策を講じる事が肝要であると考えるが、今後の取組についてはどの様に考えているか。	総務部長
2. 能美市職員の就業環境の向上、及び定員の増加について			
(1)	就業環境の評価を問う	能美市役所の働く環境は、どの様なものか。特に、メンタルヘルスに関する取組を問う。メンタルヘルス不調による休職者の現状はどうか。また、長期休職者に対する医師による面接指導などは適切に行われているか。	総務部長
(2)	事業・業務量、及び定員の増加を問う	事業数や業務量と職員数のバランスは適正と考えるか。業務と職員数の見直しを検討する必要があるのではないか。	総務部長
1 1	3. 新学校給食センターについて		
(1)	現学校調理員の継続雇用を確保せよ	現在の各校調理員が新学校給食センターにおいて継続雇用を希望する調理員は、全て採用される確約が取れているか。	教育委員会 管理局长
(2)	地元納入業者及び地元食材(特産品を含む)の活用を問う	地元納入業者及び地元の食材(特産品を含む)が、引き続き積極的に活用される事となるか。市の見解を問う。	教育委員会 管理局长
(3)	災害時など「地域の調理施設」としての役割を問う	新学校給食センターには炊飯機能は整備しないが「災害等の緊急時には炊き出し等が行える設備や食材貯蔵庫の導入」を検討するとの事。災害時における「炊き出し」について説明を求める。また、例えば、年に1回、実際に炊き出しなどを行い、災害時等における演習を行うと共に、地域や関係団体などとの交流を行う事も大切と考える。市の見解を問う。	教育委員会 管理局长
4. ナッジ理論の活用と健康診断受診率の改善について			
(1)	健康診断受診率のさらなる向上のために、ナッジ理論の活用を問う	受診率の向上のために、能美市として、これまでどの様に取り組んできたか。今後のさらなる向上のために、「ナッジ理論」を活用する事も検討すべきと考えるが、市の見解を問う。	健康福祉部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
1 2	10番 山本 悟（一問一答）			
	1. 能美根上駅の利用促進について			
	(1)	のみバスの利用状況について	令和5年4月よりののみバスのルート・ダイヤを変更したが、その効果や利用状況について問う。	企画振興部長
	(2)	「能美根上駅利用促進協議会」について	「能美根上駅利用促進協議会」における議論の進捗状況について問う。	企画振興部長
	(3)	能美根上駅の利用促進について市長の想いを問う	能美根上駅の利用促進及び駅周辺の活性化について市長の想いを問う。	市長
	2. 宮竹用水の治水協力協定に基づく事前止水措置について			
	(1)	事前止水措置の西川に対する効果について	治水協力協定に基づき行なった事前止水が西川にもたらした効果を問う。	土木部長
	(2)	事前止水を迅速に行なうための方策について	煩雑な作業が必要である事前止水措置を、迅速に行なうために良い方策がないか問う。	土木部長
	(3)	治水対策の今後の取組について	治水協力協定に基づく事前止水措置を含めた治水対策の今後の取組について問う。	市長
	3. 地球温暖化対策について			
	(1)	熱中症による緊急搬送について	熱中症による緊急搬送された人数や搬送時の症状及び年代別の具体的な数値について問う。	消防長
	(2)	小中学校の熱中症対策について	通学時や運動時の小中学校の熱中症対策、また熱中症にかかった児童生徒の状況について問う。	教育委員会 管理局长
	(3)	能美市地球温暖化対策実行計画について	能美市地球温暖化対策実行計画の内容や温室効果ガス削減目標及び具体的な取組について問う。	市民生活部長
	(4)	地球温暖化対策を能美市としてどのように進めるか	地球温暖化をSDGs未来都市である能美市として、今後、カーボンニュートラルなどの取組をさらに積極的に進める必要があると考えるが、市長の想いを問う。	市長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
13	8番 北村周士(一問一答)			
	1. 学術協力に関する基本協定を市政発展に活かす姿勢を問う			
	(1)	北陸先端科学技術大学院大学と沖縄科学技術大学院大学との学術協力を能美市の発展に活かすことはできないか	北陸先端科学技術大学院大学と沖縄科学技術大学院大学との間で、学術協力に関する基本協定が締結された。今後、この学術協力を市政発展に活かすとともに、石川県と沖縄県という枠組みだけではなく、それぞれの立地自治体である能美市と恩納村とのあいだでも連携を深めていくことはできないか、その姿勢を問う。	市長
	2. 孤独・孤立対策推進法の施行へ向けての対応について			
	(1)	生活支援ハウスに係る施策について	高齢者や生活困窮者へ向けての施設として運営されてきたが、利用者の低迷が懸念された時期もあった。近年の機能拡大、施設利用の促進を図る取組により、施設利活用の幅が広がっているが、利用者を効率的に増加させるために行ってきた施策及び効果、そしてひきこもりなどの解消のためにどのような対策を講じているかを問う。	健康福祉部長
	(2)	孤独・孤立対策推進法の施行へ向けての市の取組は	来年4月より孤独・孤立対策推進法が施行される。法では、地方自治体は孤独・孤立対策地域協議体を設置するように努めるとされるが、市が現在行っている支援に対する取組と、今後考えうる対応、また市民への周知・理解についての考え方を問う。	健康福祉部長
	3. 文学で育むふるさと愛について			
	(1)	能美市ゆかりの文学者をまちづくりに活かす方を問う	能美市は文学界で顕著な業績のある先達を多く輩出してきた土地柄である。それぞれの活躍を顕彰し、市民のふるさと愛を醸成する取組について、今後の展望を問う。	教育委員会 管理局长
	(2)	市立図書館の充実について	電子図書館の開設がなされ、市の読書環境は他と比しても誇るべき質・量である。雑誌、書籍の価格も高額化する中で、図書館の購入費についても水準を維持、むしろ拡充していくべきと考えるが、市の見解を問う。	教育委員会 管理局长